

E-Mail : [taniyama-cc@lagoonne.jp](mailto:taniyama-cc@lagoonne.jp) URL: <http://www5.ocn.ne.jp~tvcc/>

発行人：頭島光神父 編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

## 「愛のために生きる」

カトリック谷山教会 主任司祭 頭島神父

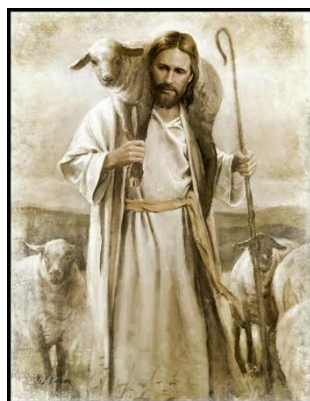
**新**しい年を迎えたのもつかのま、早、一か月が過ぎようとしています。私はもう一度「利他を生きる」ことを自分の人生の目標として打ち立てられるかどうか、考えてみたいと思います。端的に言って、人のため他者の益のために何ができるか。人生の与えられた残り僅かな時を、いかに人のために捧げられるのか問い直してみたいのです。人のためにできること、それは何か。そのために必要な行動は愛である。それは分かっている。しかし、イエスのように徹底的に愛することは難しい。イエスは他者のために我が命をも捧げ、十字架にまで登り詰めたお方だからだ。そこまでできなくとも、今できる愛があるなら、それはどんな愛し方なのか。共に考えてみましょう。

### ◆「愛する」ということについて

ある哲学者が「愛するということは芸術」といっていました。愛が芸術であるという意味は、それが私からの能動的な働きかけであるということです。別言すれば、愛は一朝一夕に到達しない神聖な行為であるということです。しかし、たとえそうであったとしても、自分の中で愛が動き出すとき、それが自身を突き動かし、湧き上げるほどの衝撃であることを知るのです。つまり、私の中の霊の賜物が神によって動かされたのです。もし霊的になれれば、人は他者のために自己の命を惜しむことなく捨てることのできるのです。愛するということは行動的であり積極的なものなのです。主体的なあなたの行為だからこそ、自利などは捨てられ、利他のみを求めてやり遂げていく自己を見出すだけです。

### ◆愛は奇跡か

愛するということは、予期せぬ人の衝撃的な行動です。それゆえ、人はそれを愛の奇跡と評する。ならば、愛とは奇跡的な行動としてのみ限定されるのか。あの有名なマザーテレサも、まさに「愛の奇跡」と人は言う。そして必ず自分にそんなことはできないと思う。またマキシミリアーノ・マリア・コルベ神父は人の身代りになって死んだ。この人の行動もまた、愛の奇跡という。マザーもコルベも確かに他者のために自己を犠牲にして愛の行動を起こした聖人です。しかし、人はなぜそれを奇跡としてだけ捉えるのか。私が他人を愛すること自体が実は奇跡なのではないでしょうか。



### ◆命を捨てること

イエスの生き方を見れば、確かに「愛することとは命を捨てること」であって、そんなことはできないと私たちは思う。そして、次にイエスは神の子だから、そうできたと言う。初めから愛することから、自分を遠ざけてはいませんか。確かに、自分の命を誰かのために捨てることなど簡単にできることではありません。神の子でない限り…。では、どうしてあなたは今生きていられるのか。今日まで生きてこられたのは誰かがあなたを愛してくれていたからではないですか。あなたの父母、兄弟姉妹、そして色々な方々との出会いがあって、生きていたのではないですか。あなたがよりよく生きるために命をすり減らしてくれた人がいたと考えることができれば、まさに奇跡がそこに起こったのです。

### ◆キリストのように生きる

人のために愛をもって生きることは、人間の本性であって本当は誰にでもできる行動です。ですから、愛することのできたときは大きな喜びです。愛することこそ奇跡の行動であって芸術です。私が自分の中に愛を生み出すとき、自らも神の子であると分かるのです。イエスは勿論、特別な人です。救い主ですから当たり前です。でも、私たちにできることは、ただひとつ。その「キリストに倣う」だけです。イエスは言われました。「自分を捨てて、十字架を担って、私についてきなさい」。これが主イエスの私への愛の命令です。愛することには、難しいことが何もありません。



3日 聖アンスガリオ司教

(801-865年)

アンスガリオは、フランス北部にある、アミアンという都市に生まれた。高貴な家庭の出身で、コルビエ(フランス北部)で教育を受け、修道院に入った。修道士になった彼はドイツのヴェストファーレンに移り、活動をはじめた。亡命していたデンマークの王、ハーラルが洗礼を受けて祖国に戻るとき、アンスガリオは同行し、彼は王の保護のもとにそこで宣教した。

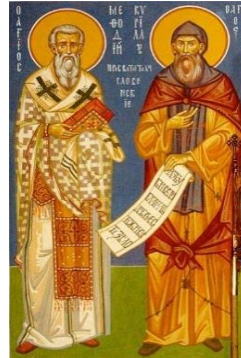


彼はデンマークでの宣教に成果を上げ、それを耳にしたスウェーデンの王、ビョルンの要請を受けて、スウェーデンで宣教し、教会を建てた。831年、ドイツのハンブルクの司教に任命され、その後教皇グレゴリオ4世によって、ノルウェー、スウェーデンに派遣され、統治した。彼はそこで宣教に励むが、845年、異教徒であるノース人がスカンジナビア半島に侵入し、キリスト教は打撃を受けた。848年、ドイツ、ブレーメンの司教に任命され、ニコラス1世のときに、デンマーク、ノルウェー、スウェーデンを統治する権限を与えられた。

彼は疲れを知らない説教家であり、学校を建て、貧しい人びとを助けた。詩編の祈りを愛し、毛皮の衣を身につけ、健康が許せばパンと水で過ごすなど、禁欲的な生活を送った。865年にブレーメンで亡くなり、そこに埋葬された。

14日 聖チリロ隠世修道者／聖メトジオ司教

(827年ころ-869年／815年ころ-885年)

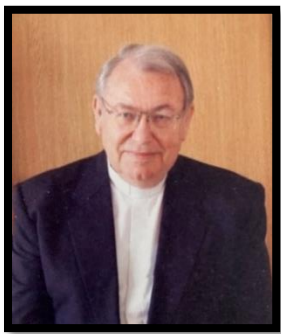


両聖人は兄弟であり、東ローマ帝国の官吏の息子としてギリシャのテサロニケ(現サロニカ)に生まれた。当時、ここは東ローマ帝国の重要な貿易港として栄えていた。2人はスラブ人の文化に触れ、それを身につけ、のちに首都コンスタンチノーブルにも遊学した。チリロは哲学、神学に優れ、官廷付司祭となった。メトジオは、官職についたが、後に修道院に入った。

862年、東ローマ皇帝ミカエル3世は、モラヴィアの国王の要請に応じて、兄弟を宣教師としてモラヴィアに派遣した。2人は流ちょうなスラブ語で説教をし、文字も書物もなかったこの地にスラブ語の文字を新たに作り、聖書をスラブ語に翻訳するなど、宣教活動によって教会を改革していった。こうしてスラブ族の大半は、キリスト教徒になった。2人はローマに招かれ、教皇から祝福を受けたが、チリロはとつぜん大病にかかり、42歳で亡くなった。その後、メトジオはモラヴィアに戻り、宣教活動をするが、東フランクの聖職者の反感を買い、投獄された。しかし教皇の尽力によって873年に釈放され、その後も、スラブ教会のために聖書の翻訳や、聖職者の養成に力を注いだ。兄弟は「スラブ族の使徒」と呼ばれている。

-女子パウロ会聖人カレンダーより-

12月22日 ムイベルガ神父様が帰天されました



ヨセフ・ムイベルガ神父様

(レデンプトール修道会司祭・宣教師)

1941年 生誕

1969年 来日

1971年

2003年 助任司祭・主任司祭  
鹿児島大学ドイツ語講師  
川内純心大学哲学科教授

2003年  
~2019年 谷山教会主任・助任司祭

2019年 ドイツへ帰国

2022年12月22日帰天。享年81歳

“私は、あなたたちの名前を口にすると、私の神に感謝しあなたたち一同のためにいつも喜びをもって祈っています。それは、あなたたちが最初の日から今日まで、福音の宣教に協力しているからです。あなたたちの中で善い業を始められたかたが、キリスト・イエスの来られる日まで、その業を成し遂げてくださると、私は確信しています。” (フィリッピ1, 3-6)

12月29日ドイツ、ガルス修道院にて葬儀・告別ミサが行われました。師は来日後、すべてを日本の教会のために捧げ、福音宣教活動を展開してくださいました。北薩・谷山教会で主任司祭を歴任され、芸術、執筆、音楽活動に力を注がれ美しい歌声を聞かせてくださいました。ありがとうございました。永遠の安息の中で憩われますように。



ご成人おめでとございます。

1月1日元旦ミサの中で新成人の祝福がありました。この日祝福を受けたのは、ルドビコ・坂元豪さん(坂元真美さんのご長男)マリア・池田紗希さん(池田賢一さん、ますみさんのご三女・雨水さんのお孫さん)おめでとうございます。神様の豊かな恵みと導きがありますように。谷山教会の若い力に心よりエールを送ります。



教皇フランシスコ(邦訳)

@chuokyo-pope さんのツイート 1/12

イエスをあかしするために完璧になるのを待つ必要はありません。宣教は今日、まさに私たちが生きているところから始まるのです。そして他者を説得しようとするところから始まるではありません。日々、私たちを見つめ、引き上げてくださった愛の素晴らしさをあかしすることから始まるのです。

## 2023年2月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

◆2023年、今年もはや二月に入り、22日の灰の水曜日から四旬節に入ります。小教区テーマである「ひとり一人を認め、尊重し、愛する」を黙想のテーマとしたいと思います。イエスが教える隣人愛と相互愛を実際に日常生活にかすためには、まずひとり一人の存在を認めることから始まります。当たり前のように聞こえますが、今の時代、そこから間違っている人々がいるのです。その究極の形が戦争と言えます。そもそも初めからひとり一人を認めていなかったから、尊重は勿論のこと、愛せるはずもないということではないでしょうか。わたしたちもその原点である、イエスの教えの根幹に迫って、祈り、黙想し、見つめ直していきたいと思います。

新年早々、私自身が、コロナに罹患してしまい、皆様にご迷惑をおかけいたしました。元気に快復いたしましたので、これからも感染症対策として手指消毒と検温及びマスク着用を原則に、前に進んで行きましょう。

以下、2月のミサ典礼朗読先唱奉仕となります。よろしく、ご協力を願います。

◆ 入堂前手指消毒及びマスク着用と検温に協力願います。

◆ 聖堂内への入場制限はありません。泣部屋は子ども連れ家族のみとします。

◆ 聖堂内では白印を前にご着席ください!換気、加湿はこれまで通り続けます。

◆ 聖体拝領は一列に並び、前後 1m程度、間隔を空けゆっくりとお進みください。



風邪  
ひかない  
ようにし  
ましょう

■ 2月の典礼の朗読及び先唱の役割分担は以下の通りです。

◇ 2月5日 年間第5主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 10班

◇ 2月12日 年間第6主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 1班

◇ 2月19日 年間第7主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 2・3班

◇ 2月26日 四旬節第1主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 4班

★2023年が平和の年となるように「平和の祈り」を共に捧げましょう。アシジの有名な<平和の祈り>が先月号に載りました。ぜひ、2月のミサからその初めの祈りに加えましょう。また、これからも新典礼を歌で盛り上げていきましょう。ご協力、よろしくお願いいたします。歌うことでさらに祈りは深まり、信仰も燃え上がります。互いに相手を認めながら、キリストのうちに一つとなる恵みを願って、平和を発信していきましょう。神に感謝!

2023/2/1 主任司祭 トマス頭島 光

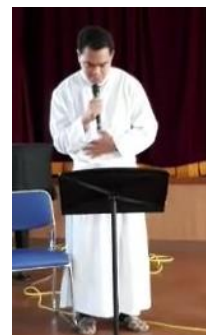
2023/1/8 司式 頭島神父と  
オーファン神父 (谷山教会)



Thank you lord  
ありがとう!



ギター弾き語りをするオーファン神父  
とエルビン神学生。



ビデオ説明をする  
オーファン神父

2020年4月4日にインドネシアのスンバで豪雨の為洪水がおき、住民は莫大な被害を被った。レデンプトル会の志願者や司祭達が壊れた家の後片付けや掃除、家建ての手伝い、衣類を配ったりした。これは、谷山教会の主任・頭島神父様と信徒の皆様のお陰です。私達は、皆様の愛の道具として働いたと言えるでしょう。と 31歳のオーファン神父は、日本語を上手に使い、ビデオを見ながら説明され、お礼を述べられた。心から有難うございますと。

最後にエルビン神学生とギター弾き語りをされたが、軽快なリズムで、二人の息はぴったり。

こちらこそ楽しいひと時をありがとうございました。神様に感謝! 2023年01/08 上原敏子記

# 令和5年(2023年)谷山教会02月の予定と祝日表(02月01日~02月28日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	水	19:00 召命ミサ			
2日	木	祝日 6:30 主の奉献 朝ミサ			
3日	金	記念日 19:00 福者ユスト高山右近殉教者 初金ミサ			
4日	土	19:00 年間第5主日のミサ(聖母の土曜日)		⑩	教会
5日	日	6:30&9:00 年間第5主日<ミサ中入門式>*ミサ後蚤の市	⑩		
6日	月	記念日 6:30 聖アガタおとめ殉教者 朝ミサ			
7日	火	6:30 朝ミサ			
8日	水	19:00 召命ミサ <求道者勉強会VIIシーズン> 11			
9日	木	6:30 朝ミサ			
10日	金	記念日 6:30 聖スコラスチカおとめ 朝ミサ			
11日	土	14:00 ムイベルガ神父追悼ミサ 19:00 年間第6主日のミサ	建国記念日 *世界病者の日	①	教会
12日	日	6:30&9:00 年間第6主日 *15:00~教会役員会	①		
13日	月	6:30 朝ミサ			
14日	火	記念日 6:30 聖チリロ隠世修道者 聖メトジオ司教 朝ミサ			
15日	水	19:00 召命ミサ			
16日	木	6:30 朝ミサ			
17日	金	6:30 朝ミサ			
18日	土	19:00 年間第7主日のミサ(聖母の土曜日)		②③	教会
19日	日	6:30&9:00 年間第7主日/ミサ後司牧評議会	②③		
20日	月	6:30 朝ミサ			
21日	火	6:30 朝ミサ			
22日	水	19:00 灰の水曜日 四旬節(大斎・小斎) <求道者勉強会VIIシーズン> 12			
23日	木	6:30 朝ミサ *18:30~典礼委員会	天皇誕生日		
24日	金	6:30 朝ミサ 19:30~十字架の道行き			
25日	土	19:00 四旬節第1主日のミサ		④	教会
26日	日	6:30&9:00 四旬節第1主日	④		
27日	月	6:30 朝ミサ			
28日	火	6:30 朝ミサ			
3/1	水	19:00 召命ミサ			
3/2	木	6:30 朝ミサ			

今月の行事当番班は10.班です

いつも喜んでいなさい。  
絶えず祈りなさい(テサロニケ5:16)

四旬節は、私達を回心へと考えを改める事へ招きます。所有するのではなく、与える事。蓄えるのではなく、良い種を蒔いて、分かち合う事ができるようになるのです。(教皇フランシスコ四旬節メッセージ)

たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、  
時が来て実を刈り取ることになる。(ガラテヤ6:9)



ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00~	7, 14, 21, 28日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:00~	1, 8, 15, 22日
聖書と教理-II	毎週金曜日 10:00~12:00	3, 10, 17, 24日

\*3/4・5日(土、日)レデンプトール会地区(出水、川内、入来、阿久根、谷山、母間、沖永良部)合同黙想会を企画しています。主任司祭・頭島光